

しめ、又は其の後の行動が一線に配布した創出趣意者に  
 会感及しとあるの事。因員中と不平分子をまじ、内部分  
 崩壊を始りた。此の分乍らば遠からず會社の新株を以て  
 正義面を不十余と云ふべし。其の不都合あり。身議園と  
 して傳習物が此の誠の是非を都合よくする。

法會武蔵志士入部。懐起

社會主義者予其志願第一支那の野田所長我々不學の門が身議  
 動望以来、公職を敬避して正義面。組織に任帯し、會社に  
 御用を警むることと。彼はた有様を噴出せし。去るべきは身  
 議の行を莫くは日。恐るる執行委員(所議)と共に所役場と所  
 長を訪問し、其の非行を責め辭職を勧告した。

(見)

身議経過

No. 3

昭和 2.12.13.

関東醸造  
 労働組合

身議圖